2026年9月期
通期決算説明資料

株式会社パルマ
（東証スタンダード・名証メイン：3461）

2026年11月13日

目次

01	2026年9月期 業績ハイライト	03
02	各事業の状況	08
03	2027年9月期 業績目標	13
04	会社概要・事業概要	21

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

01　2026年9月期 業績ハイライト

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

2026年9月期　業績ハイライト

売上高

27.2 億円

前年同期比　+18.0%

営業利益

193 百万円

前年同期比　+31.0%

経常利益

234 百万円

前年同期比　+25.1%

当期純利益

135 百万円

前年同期比　+10.6%

事業KPI

BPOサービス受託残高

14.4 万件

前期末比　+7.1%

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

2026年9月期　損益計算書

セルフストレージ施設の販売等による増収に加え、
BS事業の受託基盤拡大やTKS事業の収支改善等により増収増益

（単位：百万円）	2026年9月期	YoY増減率（%）	2025年9月期
売上高	2,727	+18.0	2,312
営業利益	193	+31.0	147
経常利益	234	+25.1	187
当期純利益	135	+10.6	122
※ 1株あたり純利益（円）	20.02	ー	18.10

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

2026年9月期　貸借対照表

2025年9月末

流動資産 3,552百万円 内訳） 棚卸資産　797百万円 求償債権　506百万円	負債 1,370百万円 内訳） 有利子負債　898百万円
	純資産　2,420百万円
固定資産　239百万円	



2026年9月末

流動資産 3,364百万円 内訳） 棚卸資産　745百万円 求償債権　540百万円	負債 1,099百万円 内訳） 有利子負債　645百万円
	純資産　2,474百万円
固定資産　210百万円	

- 施設販売により棚卸資産が、借入金の返済により有利子負債がそれぞれ減少

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

2026年9月期　キャッシュフロー計算書

（単位：百万円）	2025年9月期	**2026年9月期**	主な増減要因		
			項目名	2025年	**2026年**
営業CF	△416	185	税引前当期純利益	＋　187	＋　231
			棚卸資産の増減	△　435	＋　52
			求償債権の増加	△　73	△　34
投資CF	29	55	投資有価証券の売買による収入	＋　47	＋　50
財務CF	141	△333	短期借入による収入	＋　205	△　205
			長期借入による収入	＋　168	＋　523
			借入金の返済による支出	△　191	△　571
			配当金の支払	△　40	△　80
現金及び現金同等物の増減	△245	△92			
現金及び現金同等物の期末残高	2,198	**2,106**			

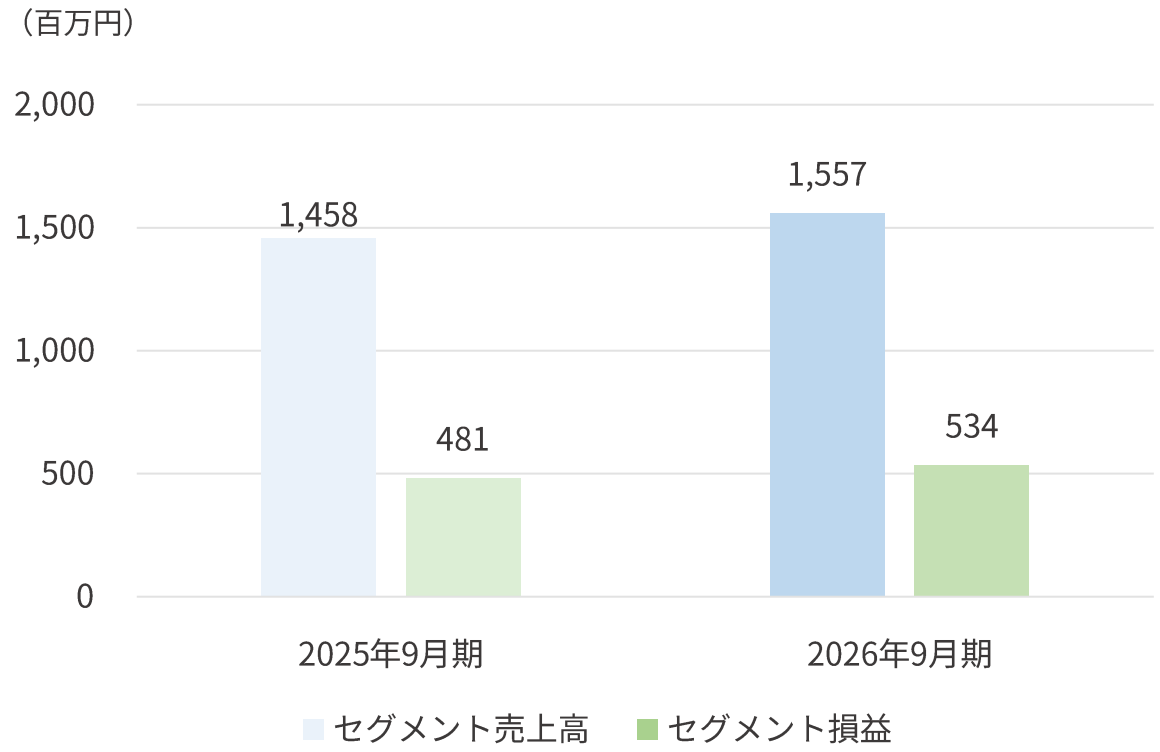
Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

02　各事業の状況

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

BS（ビジネスソリューションサービス）：業績・経営指標の推移

- 受託基盤の拡大により、BS事業の売上高・セグメント利益は堅調に推移
- 既存サービスの拡大に加え、新たなサービス領域への展開も進展



2026年9月期　事業進捗

① BPOサービスの受託基盤拡大
- 受託件数の増加

② クラリスの利用拡大
- 登録室数の増加

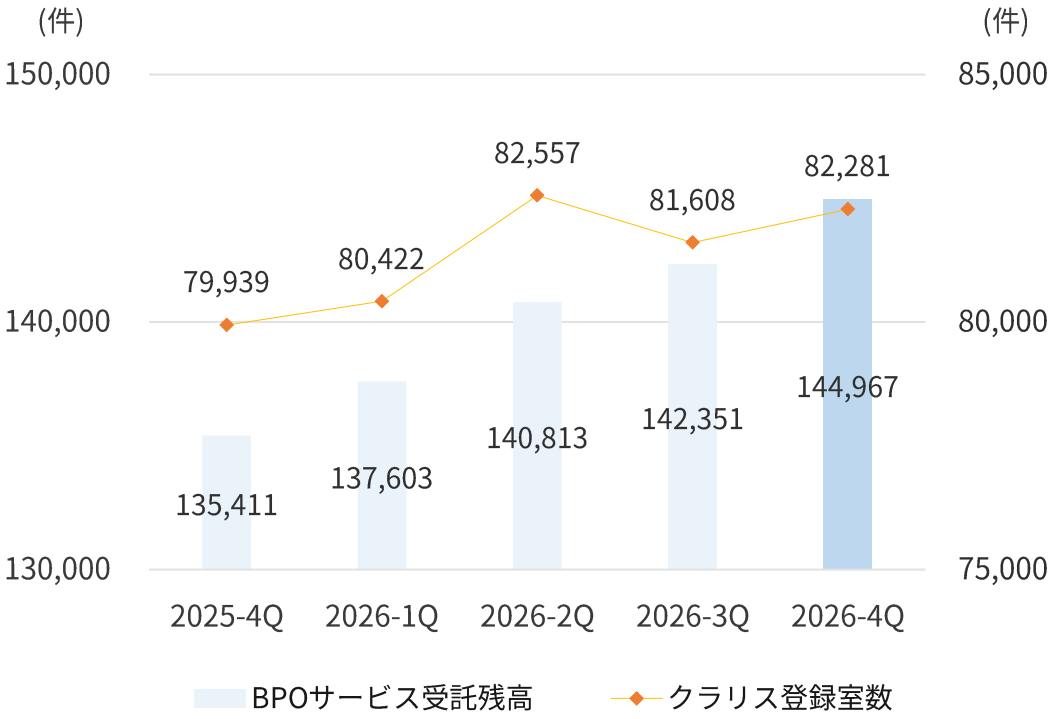
③ コールセンターの受託拡大
- コールセンターの運営体制の見直し

④ サービス領域の拡張
- レンタルオフィス保証など、新たな取り組みを推進

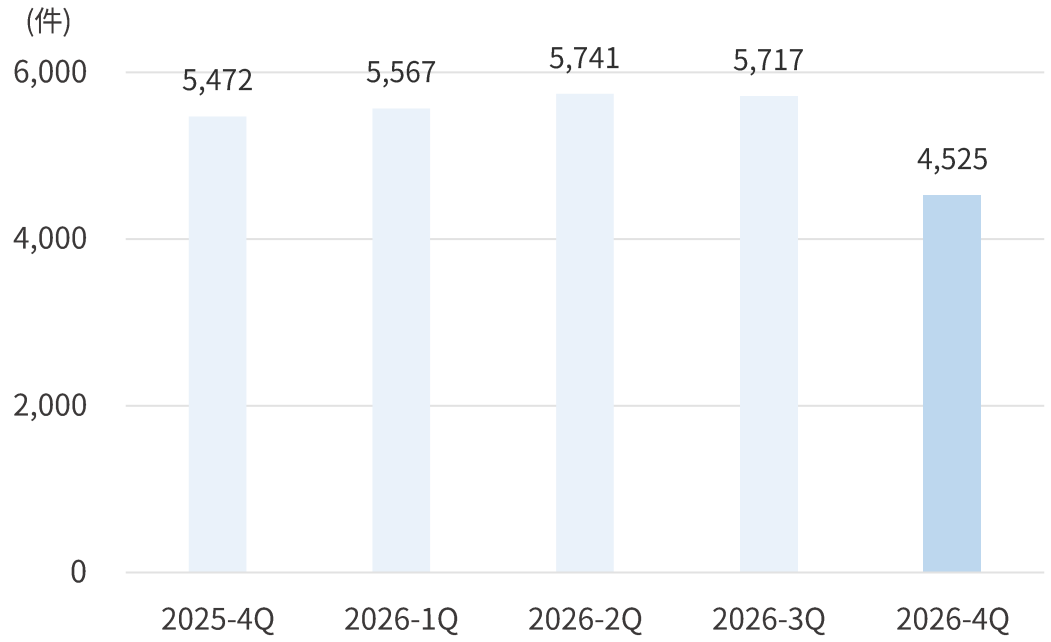
Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

BS（ビジネスソリューションサービス）：主要KPI等の推移

BPOサービス受託残高とクラリス登録室数の推移



コールセンター受託件数の推移

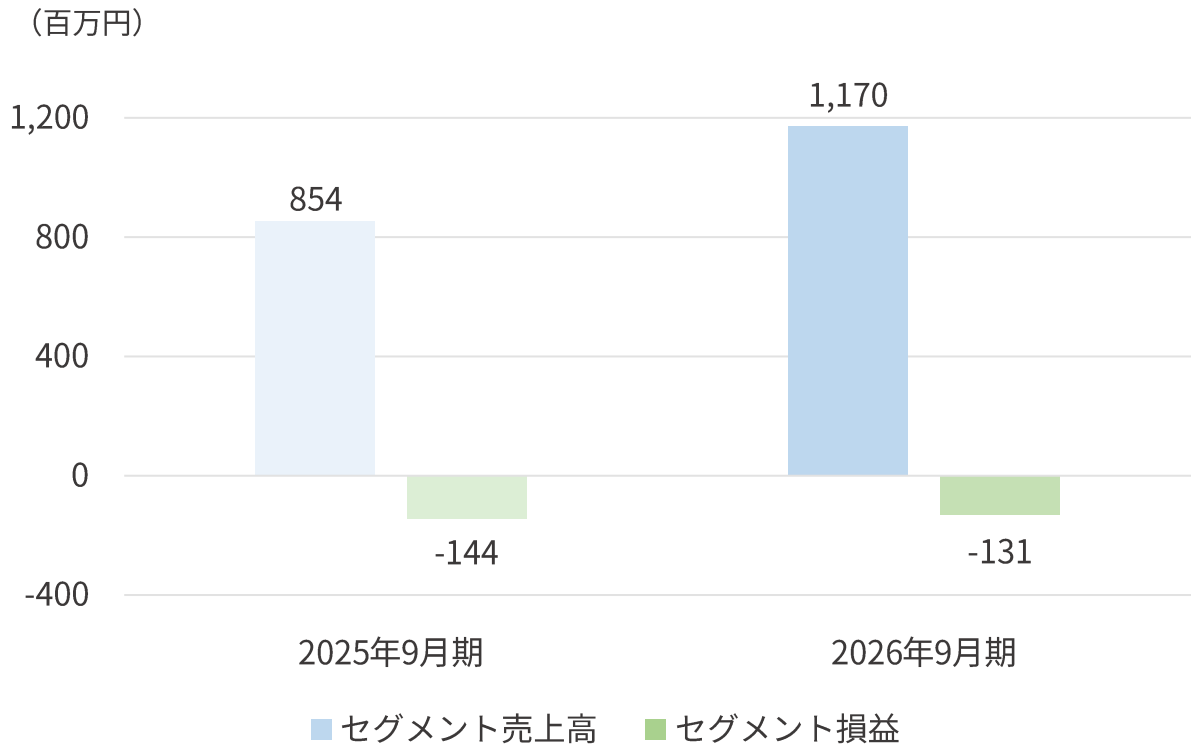


- 新規案件の獲得や既存案件の積み上げにより、BPO・ITプラットフォームの受託基盤は着実に拡大
- コールセンター受託件数は、委託先の運営体制の見直し等により減少

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

TKS（ターンキーソリューションサービス）：業績・経営指標の推移

- 一棟屋内型施設の販売等により増収となり、セグメント損失も前期から縮小
- 賃貸事業では稼働率向上・運営コストの低減により収支改善が進展



2026年9月期　事業進捗

① 一棟屋内型
- 「キーピット横浜反町」を販売

② 屋外コンテナ型
- 保有施設の稼働率改善など、運営機能の向上

③ 遊休不動産の有効活用
- 新規・既存取引先に対するコンテナの販売・設置

④ 賃貸事業
- 稼働率向上・運営コスト低減により収支改善

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

TKS（ターンキーソリューションサービス）：事業進捗と運営状況

一棟屋内型施設

- 2026年3月に竣工の「キーピット横浜反町」を販売

屋外コンテナ型施設

- エリアリンク株式会社との業務提携を通じ、
  保有物件の稼働率向上や運営体制の強化を推進

投資用不動産

- 埼玉県鴻巣市にて投資用不動産を取得
  物件価値の向上に取り組み、売却に向けた活動を継続

遊休不動産の有効活用等

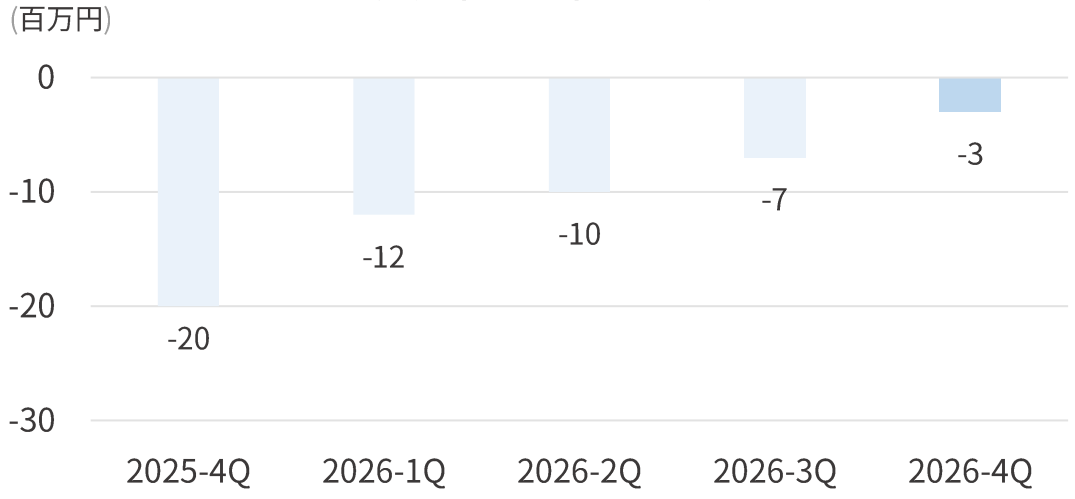
- 関東圏内をはじめとして、新規・既存取引先に対する
  コンテナの販売・設置を実施

賃貸事業

- 各施設の稼働率は着実に向上
- 運営面の見直しにより、施設運営コストを低減

稼働率の向上とコスト低減により、事業収支は改善

賃貸事業の事業収支



Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

03　2027年9月期　業績目標

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

2027年9月期の業績目標

中期経営計画の最終年度となる2027年9月期は、営業利益6億円の達成に向けて収益力の強化を推進

（単位：百万円）	2027年9月期	2026年9月期
売上高	-	2,727
営業利益	600	193

当社の業績はターンキーソリューション事業におけるセルフストレージ施設等の売買動向によっては収益が大きく変動する可能性があるため「業績予想」に代えて、当社の2027年９月期の経営目標である「業績目標」を指標としております

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

BS（ビジネスソリューションサービス）：基本方針

顧客基盤とサービス提供領域の拡大に加え、受託単価の適正化と業務効率化を推進し、継続収益の拡大と収益性の向上を図る

01 受託基盤の拡大

既存セルフストレージ事業者との取引拡大に加え、
新規参入事業者への運営支援サービスの提供を推進

これまで培ってきたBPO・滞納保証等のノウハウを活用し
セルフストレージ業界以外へのサービス展開を進め、
顧客基盤と継続収益を拡大

安定的な収益基盤の拡充

02 収益性の向上

サービスごとの収益性を検証し、
受託単価の適正化と契約条件の見直しを推進

業務プロセスの標準化や、システム活用による効率化を進め
サービス品質の向上と運営コストの最適化を両立

持続的な利益創出力の強化

BS事業の目指す姿 | **継続収益の拡大 × 事業全体の利益率向上**

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

BS（ビジネスソリューションサービス）：重点施策

重点施策	具体的な取り組み	
01 受託基盤の拡大		
BPOサービスの拡大	既存事業者との取引深耕、新規参入事業者へのサービス提供、 セルフストレージ業界以外へのBPO展開を推進	受託残高・ 継続収益の拡大
ITサービスの拡大	クラリス等の新規導入先の獲得、既存導入先での利用拡大、 関連サービスとの連携強化を推進	利用基盤・ 収益機会の拡大
02 収益性の向上		
収益構造の最適化	既存サービスの採算性の検証、および新規サービスの検討を行い、 収益性の改善に向けて、提供価格・受託量の最適化を図る	収益基盤の拡大・ 利益率の改善
業務効率化の推進	業務プロセスの標準化、システム活用による自動化、 運営体制の最適化を推進	運営コストの低減・ 生産性向上

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

TKS（ターンキーソリューションサービス）：基本方針

保有資産の収支改善と資産回転率の向上を進めるとともに、開発・販売事業の強化とアライアンスの推進により、
持続的に利益を創出できる事業構造への転換を図る

01 保有資産の売却と資産効率の改善

保有資産について、物件ごとの収益性や
市場環境を踏まえた販売戦略を策定し、
適切な価格での売却と投下資金の回収を推進

既存施設の稼働率向上、賃料条件の見直し、
運営コストの最適化を進め、
保有期間中の収支改善と資産価値を向上

保有資産の収支改善と資産効率の向上

02 新たな収益機会の創出

セルフストレージ施設の開発・販売で培った
ノウハウと事業ネットワークを活用し、
収益性と販売可能性を重視した新規案件の獲得を推進

不動産事業者や異業種企業とのアライアンスを強化し、
遊休不動産の有効活用や施設開発・販売など、
新たな事業機会を創出

開発・販売機会の拡大と持続的な利益創出

TKS事業の目指す姿 | **資産効率の改善 × 新継続的な利益創出**

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

TKS（ターンキーソリューションサービス）：重点施策

重点施策	具体的な取り組み	
01 保有資産の売却と資産効率の改善		
保有資産の売却	物件ごとの収益性や市場動向を踏まえて販売戦略を見直し、適切な価格での売却と投下資金の回収を推進する	資産回転率の向上・資金回収
既存施設の収支改善	運営委託先との連携を強化し、稼働状況や収支の分析を通じて、既存施設の収支改善と資産価値の向上を図る	収益性・資産価値の向上
02 新たな収益機会の創出		
開発・販売の強化	収益性と売却可能性を重視した案件選別を徹底し、開発段階から出口戦略を見据えた事業展開を推進する	開発利益の確保・継続的な利益創出
アライアンスの推進	既存提携先との協業深化、新規パートナーの開拓、遊休不動産活用案件の獲得を推進する	事業機会の拡大・収益源の多様化

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

株主還元方針

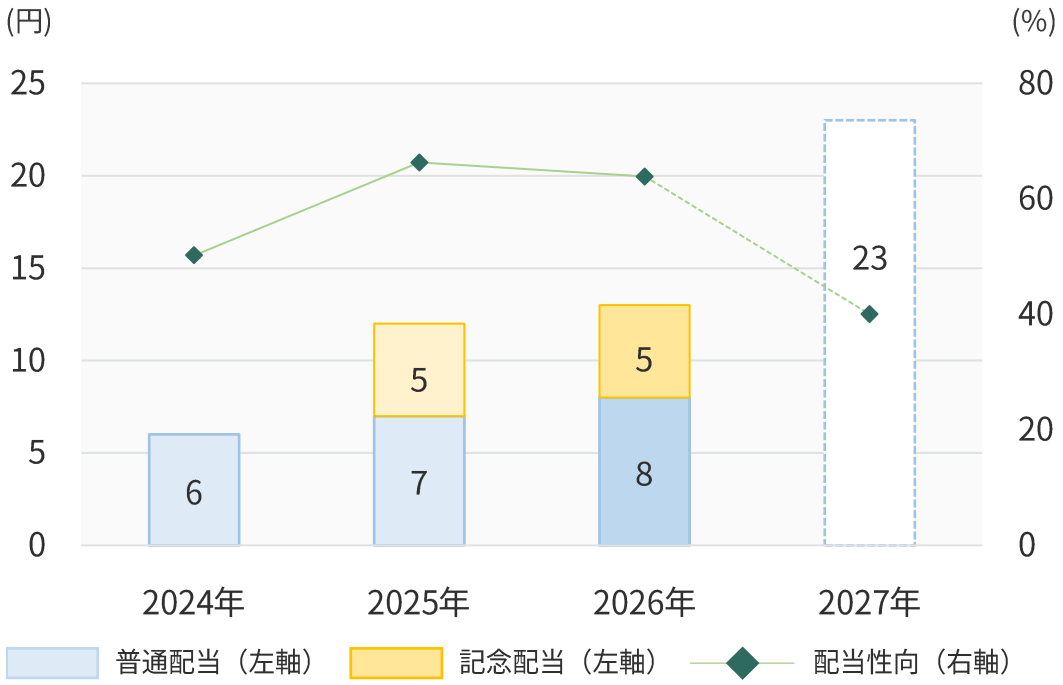
- 配当性向40%を目安に、持続的・安定的な株主還元を推進
- 2027年9月期も「QUOカード」による株主優待を実施予定

配当性向

40%（目安）

1株あたり配当金

23円（予想）



株主優待

保有株式数・保有期間に応じて進呈



保有株式数	保有期間	
	1年未満	1年超
100～999株	1,000円分	2,000円分
1,000株～	5,000円分	10,000円分

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

今後の成長シナリオ

BS事業による安定収益の積み上げと、TKS事業の収益構造改革を成長の両輪として、
持続的な利益成長と企業価値の向上を目指す

BS

ビジネス
ソリューション
サービス

BPO・ITプラットフォーム

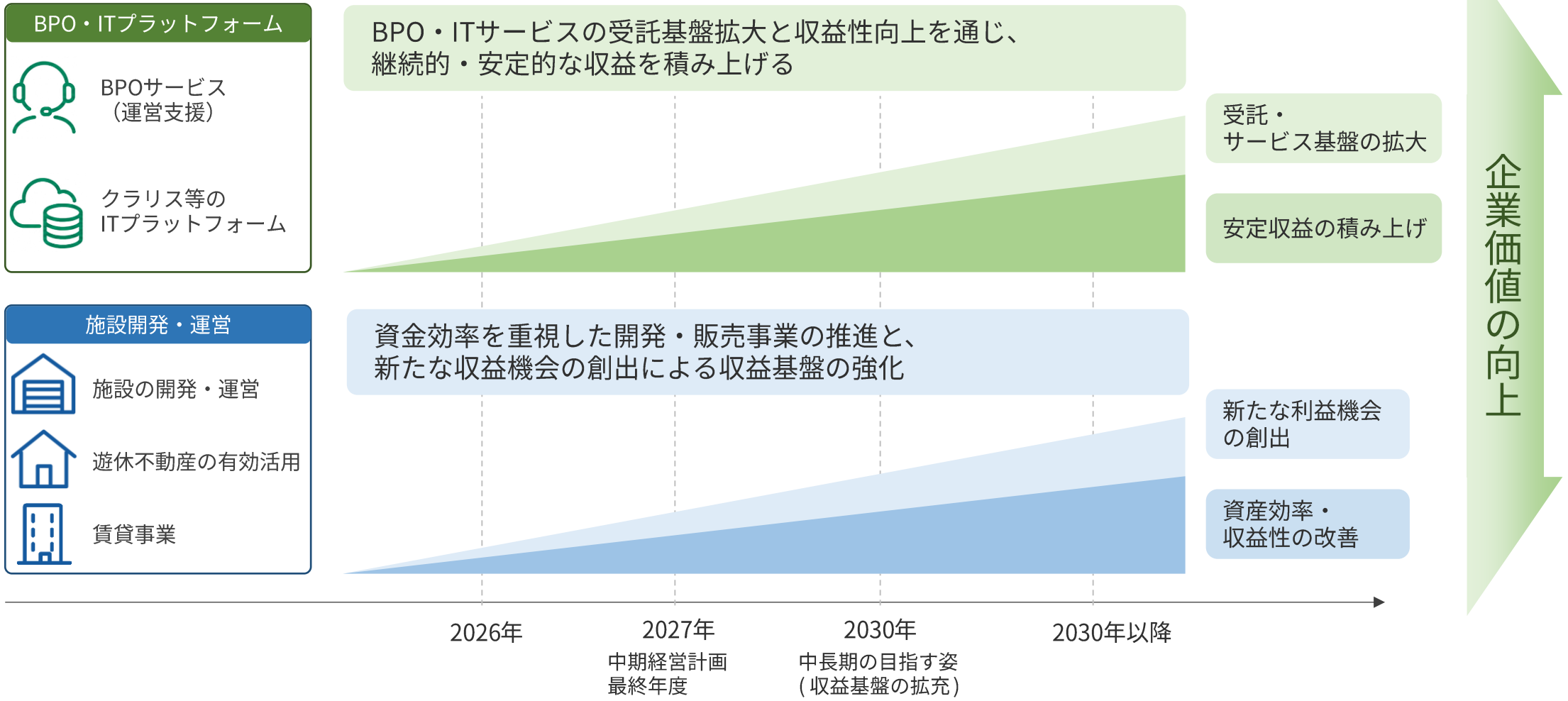
- BPOサービス（運営支援）
- クラリス等のITプラットフォーム

TKS

ターンキー
ソリューション
サービス

施設開発・運営

- 施設の開発・運営
- 遊休不動産の有効活用
- 賃貸事業



Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

04　会社概要・事業概要

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

会社概要

会社基本情報

商号

株式会社パルマ

所在地

東京都千代田区麹町4-5-20 KSビル5階

資本金

600百万円（2026年9月末現在）

事業内容

セルフストレージ事業者向けBPOサービス

セルフストレージ施設の開発・販売・運営支援

役員・従業員情報

役員

取締役会長	阿部 幸広
代表取締役社長	木村 純一
取締役	赤羽 秀行・上村 卓也
社外取締役	榎 和志・斎藤 聡
	吉松 こころ・後藤 信秀
社外監査役	大森 茂延（常勤）
	輿水 英行・髙塚 直子
執行役員	下村 隆将・石本 武

従業員

47名（2026年9月末現在）

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

事業概要

ビジネスソリューションサービス

事業概要

セルフストレージ運営を支えるBPO・ITサービス

主なサービス

BPOサービス・滞納保証・ITシステムによる運営支援

事業の特徴

運営の効率化と、利用者の利便性向上を支援



セルフストレージ事業者　　利用者

ターンキーソリューションサービス

事業概要

セルフストレージ施設の開発・販売・運営

主なサービス

施設開発・販売・遊休不動産の有効活用

事業の特徴

施設開発から販売・運営まで幅広く展開



建物型施設



屋外型施設

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

サービス系統図

セルフストレージ事業者

運営支援サービスの提供

ビジネスソリューションサービス（BS事業）

BPOサービス

- 利用受付・契約代行
- 収納代行・滞納保証
- コールセンター業務

ITサービス

- Web在庫管理システム（クラリス）
- 集客支援サービス（クラギメ）

事業間の連携

施設販売先への
BSサービスの提供

セルフストレージ事業者
投資家等

施設開発・販売

ターンキーソリューションサービス（TKS事業）

開発・販売

- セルフストレージ施設の開発・販売
- 遊休不動産の有効活用

施設運営

- 保有施設の運営・賃貸
- 施設管理業務　など

利用受付・契約代行・収納代行 など

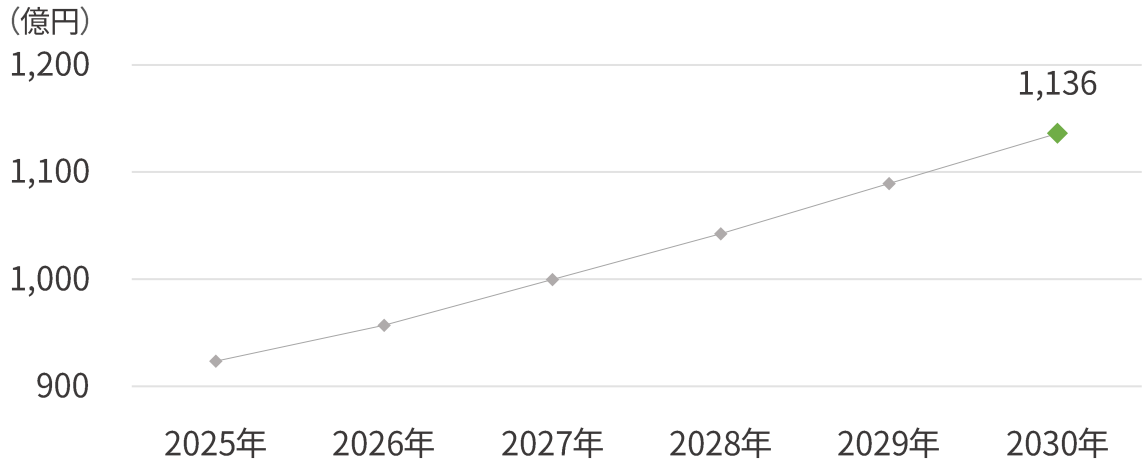
施設の提供（賃貸）

セルフストレージ利用者

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

市場環境と当社の事業基盤

市場予測　2030年に1,100億円規模へ



「出典：矢野経済研究所『2025年版 拡大する収納ビジネス市場の徹底調査』（中位予測）」

需要拡大の背景

都市化・住居面積の縮小
収納の外部化ニーズが増加

在宅浸透・オフィスのコンパクト化
個人・法人の保管需要が拡大

EC拡大×ラストワンマイル
一時保管・小口物流の需要が増加

パルマの事業基盤

幅広い顧客ネットワーク

多数のセルフストレージ事業者との取引を通じて、
業界内に幅広い顧客基盤を構築

ワンストップサービス

施設開発・販売から運営支援まで、
セルフストレージ事業者の多様なニーズに対応

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

セルフストレージ業界を支えるサービス基盤

集客プラットフォーム「ニコニコトランク」

登録施設数

7,700施設超

登録室数

33万室超



事業者向け運営支援プラットフォーム

導入事業者数

400社超

全国のセルフストレージ事業者へ導入

- 集客から運営支援まで、セルフストレージ事業者の多様なニーズに対応
- 事業者の規模や事業展開の段階に応じた、幅広いサービスを提供

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,

本資料の取り扱いについて

- 本資料に記載されている計画や見通し、戦略等は、本資料の作成時点において
  取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。
  かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

- 当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考えられる情報を掲載しております。
  掲載データについては調査方法や調査時期等により結果が異なる可能性があります。
  本資料に含まれる当社以外の情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、妥当性について
  当社は何ら検証も行っておらず、またこれらを保証するものではありません。

- 次回の更新は2月中旬頃を予定しております。

IRに関するお問い合わせ
株式会社パルマ 管理部
E-mail：irinfo@palma.jp
URL　：https://www.palma.jp/

Copyright©2026 Palma Co.,LTD,